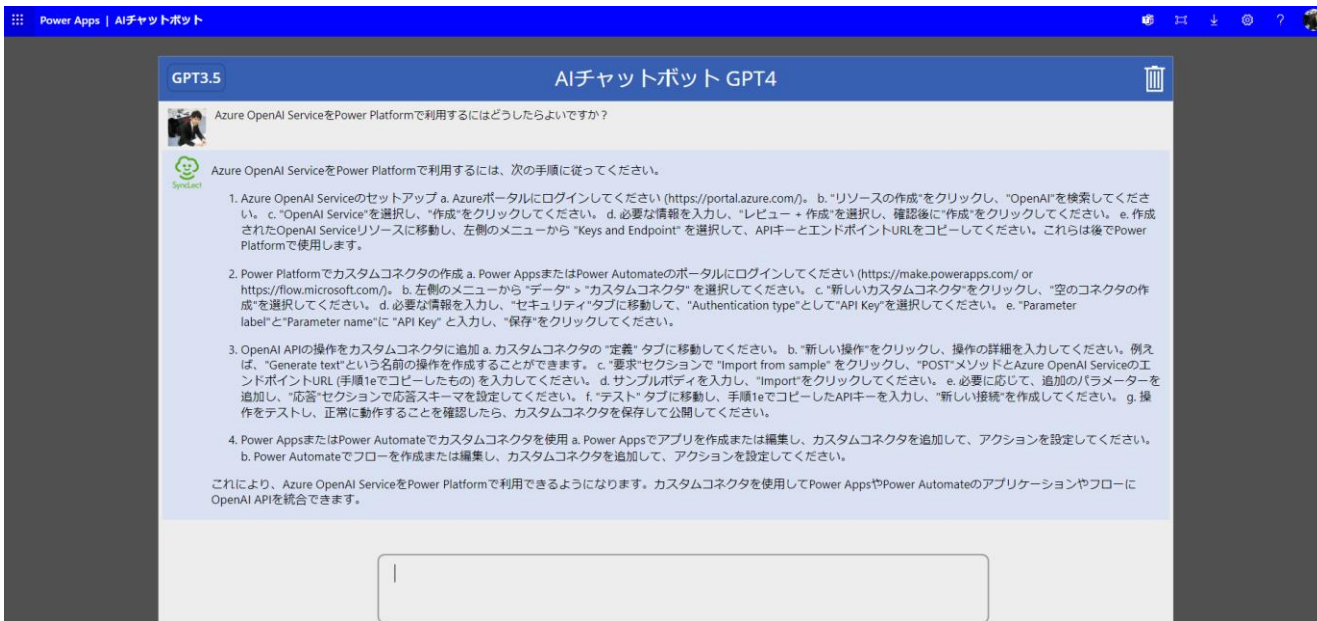


2023年6月7日

株式会社ヘッドウォータース
(コード番号：4011 東証グロース)

Microsoft365 利用企業向けに 「Azure OpenAI Service」を最短1日から始められる 「Power Platform」向け AI チャットボット導入サービス開始

AIソリューション事業を手掛ける株式会社ヘッドウォータース（本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田 庸介、以下「ヘッドウォータース」）は、Microsoft365 利用企業向けに「Azure OpenAI Service」をすぐに始められる「Power Platform」向け AI チャットボット導入サービスの開始をお知らせします。



Power Apps | AIチャットボット

GPT3.5 AIチャットボット GPT4

Azure OpenAI ServiceをPower Platformで利用するにはどうしたらよいですか？

Azure OpenAI ServiceをPower Platformで利用するには、次の手順に従ってください。

- Azure OpenAI Serviceのセットアップ a. Azureポータルにログインしてください (<https://portal.azure.com/>)。 b. "リソースの作成"をクリックし、"OpenAI"を検索してください。 c. "OpenAI Service"を選択し、"作成"をクリックしてください。 d. 必要な情報を入力し、"レビュー + 作成"を選択し、確認後に"作成"をクリックしてください。 e. 作成されたOpenAI Serviceリソースに移動し、左側のメニューから"Keys and Endpoint"を選択して、APIキーとエンドポイントURLをコピーしてください。これらは後でPower Platformで使用します。
- Power Platformでカスタムコネクタの作成 a. Power AppsまたはPower Automateのポータルにログインしてください (<https://make.powerapps.com/> or <https://flow.microsoft.com/>)。 b. 左側のメニューから"データ" > "カスタムコネクタ"を選択してください。 c. "新しいカスタムコネクタ"をクリックし、"空のコネクタの作成"を選択してください。 d. 必要な情報を入力し、"セキュリティ"タブに移動して、"Authentication type"として"API Key"を選択してください。 e. "Parameter label"と"Parameter name"に"API Key" と入力し、"保存"をクリックしてください。
- OpenAI APIの操作をカスタムコネクタに追加 a. カスタムコネクタの"定義"タブに移動してください。 b. "新しい操作"をクリックし、操作の詳細を入力してください。例えば、"Generate text"という名前の操作を作成することができます。 c. "要求"セクションで"Import from sample"をクリックし、"POST"メソッドとAzure OpenAI ServiceのエンドポイントURL (手順1eでコピーしたものを)を入力してください。 d. サンプルボディを入力し、"Import"をクリックしてください。 e. 必要に応じて、追加のパラメーターを追加し、"応答"セクションで応答スキーマを設定してください。 f. "テスト"タブに移動し、手順1eでコピーしたAPIキーを入力し、"新しい接続"を作成してください。 g. 操作をテストし、正常に動作することを確認したら、カスタムコネクタを保存して公開してください。
- Power AppsまたはPower Automateでカスタムコネクタを使用 a. Power Appsでアプリを作成または編集し、カスタムコネクタを追加して、アクションを設定してください。 b. Power Automateでフローを作成または編集し、カスタムコネクタを追加して、アクションを設定してください。

これにより、Azure OpenAI ServiceをPower Platformで利用できるようになります。カスタムコネクタを使用してPower AppsやPower AutomateのアプリケーションやフローにOpenAI APIを統合できます。

ヘッドウォータースでは、以前よりマルチ AI プラットフォーム「SyncLect」と「Azure OpenAI Service」を連携させたサービスラインナップの拡充を行っています。

多くの企業から、

「Azure OpenAI Service を導入してみたいが、何から始めたら良いか判らない」

「利用するには画面開発が必要ではないか」

「コストや期間がどれぐらいかかるか判らない」

「情報がどのように扱われるのか心配で、セキュリティにこだわりたい」

などの声を受け、Microsoft365 利用企業向けに「Power Apps」「Power Automate」を活用した社内利用向けのチャットボットを提供することとなりました。

Power Platform を利用することの利点は、次のとおりです。

- ・ Microsoft365 標準のセキュリティが前提となり安心
- ・ 導入時の検討期間を削減可能
- ・ お客様の Microsoft365 環境に専用の PowerApps テンプレートを最短 1 日で用意。(※1)
- ・ Azure AD 認証による利用者管理ができることで、情報システム部の負荷軽減。
- ・ 同じく Azure AD 認証によって、自動的にユーザアイコンが付与される。
- ・ PowerApps を活用することで、専用画面の開発が不要。
- ・ Microsoft Teams 上で利用可能なため、違和感のない UI で利用者にも馴染みやすい。
- ・ ノーコード/ローコードでお客様もカスタマイズ可能。
- ・ AI チャットボットの利用者動向を管理者が把握できる。
- ・ モバイル対応も可能。

さらにヘッドウォータースが用意した PowerApps テンプレートの利点として、次のようなものが挙げられます。

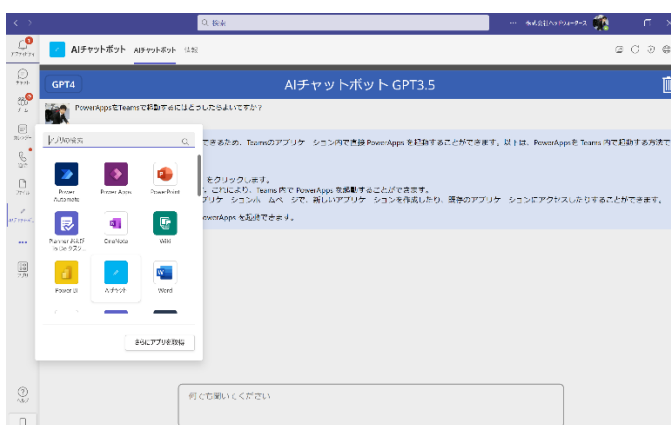
- ・ コストとレスポンススピードに差がある GPT4 と GPT3.5 を 1 クリックで切り替え可能。
サンドボックス感覚で GPT3.5、業務利用時は GPT4 を使うなどシーンに合わせて自由に変更。
- ・ 対話内容を保持して、前後の質問文脈に沿った回答が可能。
Azure AD 連携により、使えば使うほどパーソナライズも可能。
- ・ 1 クリックでキャッシュクリアが可能。
キャッシュに溜まった会話をリセットすることや、溜まったトークンを解除することで、コスト的にもエコな運用を実現

ヘッドウォータースでは、「まず Azure OpenAI Service を使ってみたい」という企業のニーズに対して、「Power Platform」向け AI チャットボット導入サービスで応えてまいります。

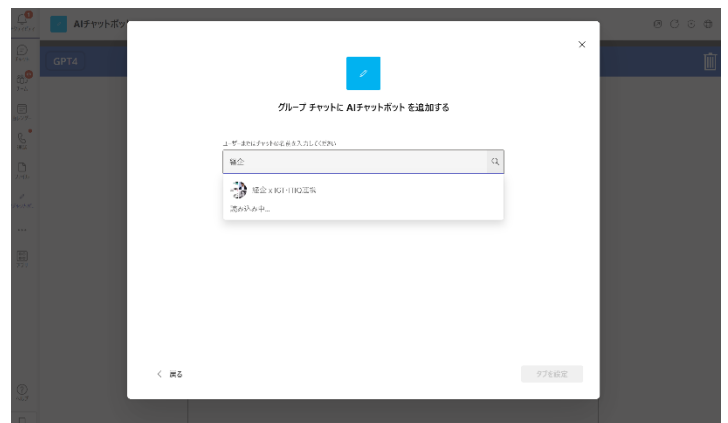
(※1) Azure OpenAI Service の申請・審査が必要となります。



Microsoft Teams 上で利用可能。



専用 PowerApps は 365 メニューに出現



Teams のチャネルやチャットでタブ追加可能

■ Azure OpenAI Service とは

OpenAI 社とマイクロソフト社のパートナーシップから生まれた Azure OpenAI Service は、さまざまなユースケースに応じた特定のニーズに合わせて最適化が可能な業界をリードするコーディングおよび言語 AI モデルを提供するサービスです。セキュリティ、信頼性、データプライバシー、ID 認証、有害コンテンツのフィルタなどエンタープライズ企業が OpenAI を利用するための Azure マネージドサービスです。

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/cognitive-services/openai-service>

■ Microsoft Power Platform とは

Microsoft Power Platform は、市民開発者があらゆるデジタルソリューションを作成できる Microsoft365 ベースのローコードツール群です。

Microsoft365(旧 Office365)の企業ライセンスのうち、エンタープライズ向けプランに内包されており、該当ライセンス利用企業であれば、専門のプログラミング知識を必要としない DX をすぐに始める事ができます。

■当社が受けたソリューションパートナー認定について(参考)

- ・ Data & AI (Azure)、Digital & App Innovation(Azure)ソリューションパートナー

お客様が複数のシステムにわたってデータを管理し、分析および AI ソリューションを構築できるよう支援する高い技術力と実績を持つことの証明となります。

https://www.headwaters.co.jp/news/microsoft_solution_partner.html

■今後について

Azure OpenAI Service をより使いやすくするための「プロンプトテンプレート管理」、「Cognitive Search」を利用した社内ドキュメント検索や画像分析、音声認識向けの API 提供、日本語のプロンプトを英語に自動翻訳したプロンプト学習精度向上機能、API 文字数制限を回避する文章チャンク、IoT やエッジ AI 連携、Microsoft 365 Copilot との統合、GitHub Copilot X の活用など世界最先端の「Generative AI」を推進していきます。

また、日本マイクロソフトとの更なるパートナーシップの強化、共同マーケティング(Go-To-Market)や、共同のデジタルソリューション開発など連携プランを加速・拡大し、カスタマーサクセスの実現に取り組んで参ります。

なお、本件による当社の当期業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

■商標について

Microsoft、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

<会社情報>

会社名：株式会社ヘッドウォーターズ

所在地：〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 4 階

代表者：代表取締役 篠田 庸介

設立：2005年11月

URL：<https://www.headwaters.co.jp>

<本件のお問い合わせ>

株式会社ヘッドウォータース

メール : info@ml.headwaters.co.jp